



2022年8月5日

No.8

7月15日に、「スエTの科学の時間」がありました！

今回は、ダンボール箱を持って現れたスエT。中からは、きゅうりが出てきました。「きゅうりの実って、花からできているんだよ」と先端に枯れた花がついている、大小様々なきゅうりを見せてもらいました。

クイズを織り交ぜながら進んでいくうちに、どんどんきゅうりに夢中になっていってしまいましたよ。

①「きゅうりを採らずにほっておいたらどうなると思う？」

→「腐る！」「動物に食べられる？」と様々な予想が飛び交います。

→「ほっておいたらこ～んなに大きくなるんだよ」と瓜のように大きな巨大きゅうりが出てきました。



②「大きなきゅうりの中はどうなってると思う？」

→「虫がいっぱい入ってる？」「う～ん、分からない」と初めて見るサイズのきゅうりに困惑気味のみんなでした。

じゃあ、切って中を見てみよう！！

普通・巨大サイズの2本のきゅうりを、ナイフで真っ二つに切りました。中がどうなっているか順番に手に持って見てみると…



スイカのおいがする！！

種が大きい！！



よく見比べて、自分たちで違いを発見していました！中に種が入っていることに気が付くと、「トマト、なすび、ピーマンも同じだよ。よ～く見たら種がいっぱい入ってるよ」と教えてもらいました。

「じゃあ人参も！？」との疑問には、「あれは実は根っ子なんだよ」と予想外な答えが返ってきて、みんな驚いていましたよ。

余談ですが…

くま組で育てているゴーヤのプランターに、1つだけ大きくてオレンジ色になっているものを発見。「変なゴーヤがある！！」と教えに来てくれました。「本当だね～」と見ていると、

「ねえ、これも半分切って中身見てみようよ！」「種大きいんかなあ」

と目を輝かせて友だちと話していました。切ってみると、大きくてツヤツヤの赤い種が、ぎっしり詰まっていた。調べてみると、なんと食べられるとのこと。「ええ～気持ち悪い」と食べたくなさそうな反応でした。

こうしてどんどん知識を吸収していくんだなあ、と子どもの学ぶ力の凄さを感じました。

